

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

尾道造船株式会社 尾道造船所

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市山波町1005番地

(3) 業種

【3131】船舶製造・修理業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度(2013年度)を基準年度とし、令和5年度(2023年度)から令和12年度(2030年度)までの8年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.基本な考え方

当社は環境の保全を経営の重要課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず当社の製品を使用する消費者のことも考慮して温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2.方針

・省エネルギー、省資源の推進

本計画の期間は、平成25年度(2013年度)を基準年度とし、令和5年度(2023年度)から令和12年度(2030年度)までの8年間とする。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度 (2013年度)	令和4年度
二酸化炭素	10,639	4,494

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度 (2013年度)	令和4年度 (2022年度)
二酸化炭素	-	-

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン	-	-
一酸化二窒素	-	-
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	-	-

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 平成25年度(2013年度)	削減目標		目標年度 令和12年度(2030年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	10,639.00	46.0	4,894	5,745
非エネルギー起源CO2	0	#DIV/0!	0	0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量				0
目標設定の考え方	2030年までに、2013年度比でCO2排出量を46%削減することを目標とする。 (政府目標に因る)			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度			原単位 削減目標	目標年度		
	排出量 (a)	原単位数 値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				0.0			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減		・アイドリングストップの徹底
2	電気使用量の削減		・水銀灯のLEDへの置き換えの促進 ・人感センサーの積極活用
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	特になし	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量の削減	両面コピー、裏面利用を通し、使用するコピー用紙の枚数の削減
2	資源のリサイクル化を促進	廃油、古紙で回収量を増加	廃油の分別促進を図り、リサイクル量を増やした。古紙リサイクル化を推進した。
3	節電		夜間の工場をパトロールして、スイッチがオフになっていない機器をオフにする。
4	節電		照明装置のLED化を進める。
5			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙2 エネルギー管理組織を流用し、省エネを推進すると共に温室効果ガスの削減も行う。

(2) 実施状況の点検・評価

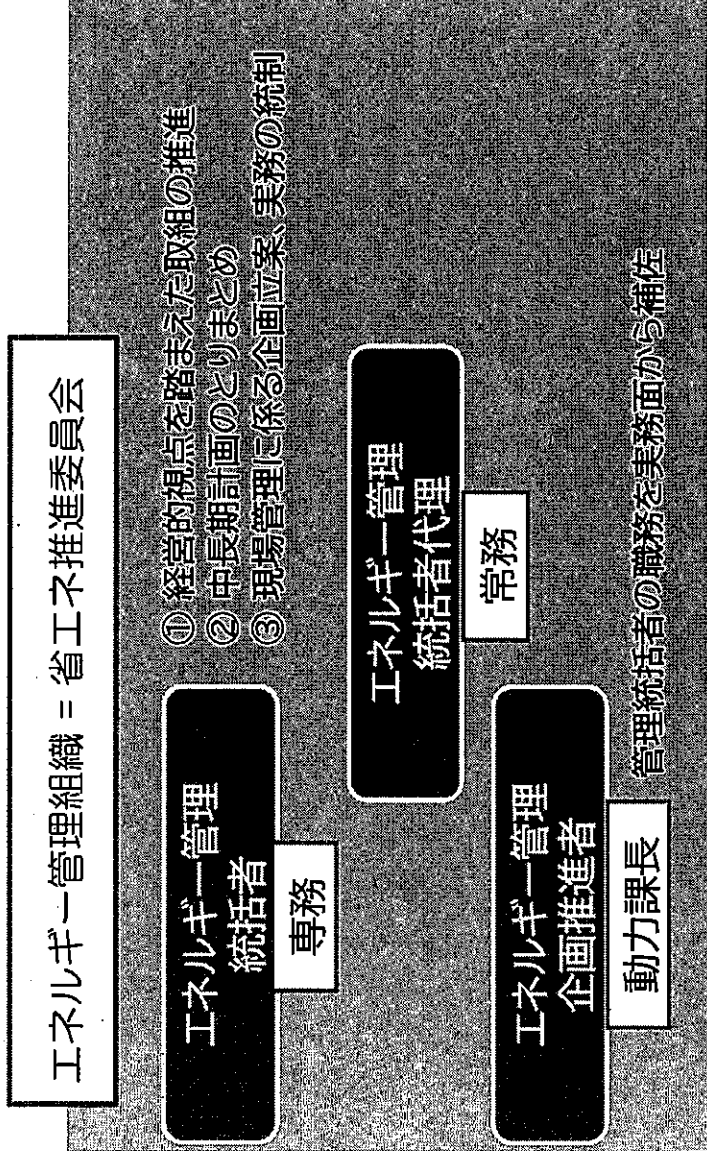
毎年、温室効果ガス削減計画の見直しを行う。

前年度の実績状況の把握と共に問題点の洗い出しを行い、それを踏まえ当該年度の計画を立てる。

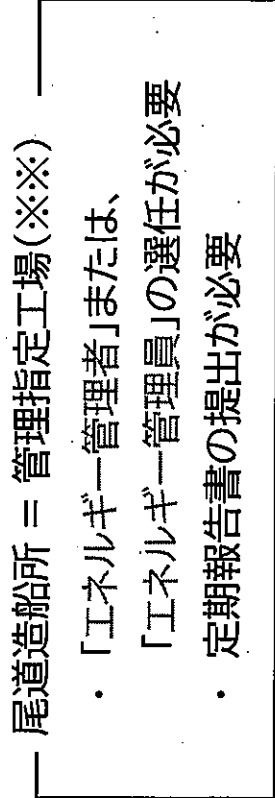
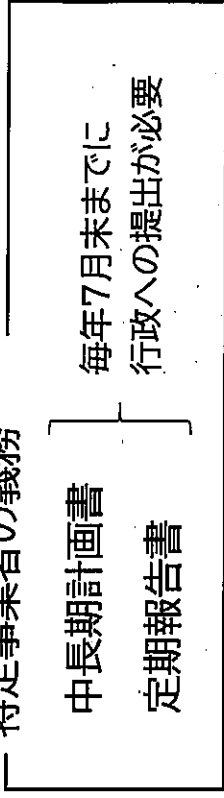
(3) 計画書等の公表

イントラネットへの掲載し、全ての従業員が閲覧できる状態とした。

尾道造船(株)は、特定事業者(※)



特定事業者の義務



(※) 事業者全体でエネルギー使用量が
原油換算で1500kℓ/年以上ある場合

(※※) 工場単独でエネルギー使用量が
原油換算で1500kℓ/年以上ある場合

